

今号の目次

1. 第 31 回研究大会 [12 月 3 日 (土) ~ 4 日 (日) 大阪市立大学] のお知らせ
2. 学会賞の募集
3. 次世代研究部会・夏季合宿のお知らせ
4. 春季大会報告
5. 事務局より

1. 第 31 回研究大会のお知らせ

(1) 大会テーマ：地域再生と広域自治体再編

(2) 大会開催要項

日 程：2016 年 12 月 3 日 (土) ・ 4 日 (日)

会 場：大阪市立大学

実行委員長：有賀敏之 (大阪市立大学)

(3) 大会プログラム (案) (最新の情報は学会 HP をご参照ください)

12 月 3 日 (土)

9:30~	受付	
10:00~12:00	奨励賞報告	
12:00~12:50	昼食 奨励賞審査委員会・理事会	
13:00~14:45	パネルディスカッション I 関西の産業・経済の 20 年と再生 —大阪から考える—	
14:45~15:00	休憩	
15:00~15:15	会長挨拶	
15:15~17:00	パネルディスカッション II 東アジアのコミュニティ開発と社会経済	次世代研究部会
17:15~	懇親会受付	
17:30~	懇親会 ・ 開催校挨拶	

12月4日（日）

9:30~	受付
10:00~12:00	一般報告
12:00~13:00	昼食
13:00~14:45	パネルディスカッションⅢ 大阪府市統合と公立大学再編 — 「大阪モデル」とその普遍性—
14:45~15:00	休憩
15:00~16:30	総括パネルディスカッション 地域再生と広域自治体再編
16:30~17:15	総会・表彰式

（４）報告募集

第31回研究大会において、報告（自由論題）を希望される方は、9月23日（金）までに、「第31回大会報告希望」と明記し、①報告テーマ、②報告要旨（1,000字程度）、③氏名・所属・連絡先（住所、電話、メールアドレス）を下記の学会事務局宛に電子メールでお送りください。（書式自由）

メール： japan@ciriec.com

大学院生（修士課程・博士課程）の報告については、下記の「2.学会賞の募集（1）奨励賞」をご参照ください。

2. 学会賞の募集

（1）奨励賞

12月の研究大会における大学院生（修士課程・博士課程）の発表について、数点に「奨励賞」を授与します。大学院生は、研究大会発表に際して、この賞への応募が前提になります。

奨励賞に応募される方は8月31日（水）までに、「奨励賞応募希望」と明記し、①奨励賞報告希望、②報告テーマ、③報告要旨（1,000字程度）、④氏名・所属・連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）を学会事務局宛（japan@ciriec.com）に電子メールでお送りください（書式自由）。

応募資格：大学院修士課程・博士課程及びそれに準ずる者

事前審査：2016年8月31日（水）までに1,000字程度の報告概要を提出

審査発表：2016年9月20日（火）までに事前審査による学会報告の可否を、本人に通知します。

提出論文：本会投稿規定・要領（ニューズレター掲載）による12,000字のフルペーパー3部

（9月20日（火）に報告が認められた方のみ、論文を提出していただきます。論文締切まで日数がないので早めにご用意ください）

論文締切：2016年10月12日（水）（消印有効、3部郵送。同時にメール、添付ファイルで提出）

郵送先：〒456-8612 愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号

名古屋学院大学 商学部 伊藤昭浩研究室内 国際公共経済学会事務局

メール： japan@ciriec.com

※ 12月の大会で報告希望の大学院生は必ず奨励賞に応募してください。報告が認められた方は、10月31日（月）までに報告概要（4,000字程度）の提出もお願いいたします。

（2）学会賞・尾上賞

「学会賞」（若手の著作）、「尾上賞」（実績のある研究者の業績、学会活動への貢献）の応募を募集します。

対象期間：2015年7月1日～2016年6月30日までに公刊された会員による著書等

締切：2016年9月30日（金）

郵送先：〒456-8612 愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号

名古屋学院大学 商学部 伊藤昭浩研究室内 国際公共経済学会事務局

※応募に際して、推薦書（自薦・他薦）、著書等を1冊お送りください。

（3）修士論文賞

2016年度提出の修士論文が対象となります。募集等の詳しい内容は後日お知らせいたします。

3. 次世代研究部会・夏季合宿のお知らせ

2016年9月17日（土）18日（日）の2日間、東北学院大学サテライトステーションにて、国際公共経済学会次世代研究部会第4回夏季合宿「仙台一番町会議」を開催します。夏季合宿は2013年度より、若手研究者を中心に研究交流を促進し、議論を深めるために開催しています。皆様のご参加をお待ちしております。

■日時・場所

2016年9月17日（土）・18日（日）

東北学院大学 サテライトステーション 会議室

仙台市青葉区一番町2-2-13 仙建ビル1階

（JR仙台駅より徒歩10分程度、仙台市地下鉄東西線青葉通一番町駅より徒歩2分程度）

■実行委員長：尾田基（東北学院大学准教授）

■プログラム案

9月17日（土）

13:00-13:30 参加者自己紹介

13:30-15:45 基調講演セッション

16:00-18:00 研究報告①

懇親会

9月18日（日）

8:00-13:00 エクスカーション（塩竈仲卸市場など）

14:00-17:00 研究報告②

■基調講演：成原慧先生（東京大学）

■申し込み方法等

参加を希望される方は、8月20日までに氏名・所属・連絡先（TEL・メール）を記載の上、両日参加か否かをあわせて次世代研究部会のメールアドレス（jisedai@ciriec.com）に送付してください。

※開催教室、タイムテーブル等詳細は、確定した参加者の方にご連絡するとともに、学会 Web にもアップします。

■備考

宿泊については、各自ホテルの手配をお願いいたします。仙台駅前西口に多数宿泊施設があります。

4. 春季大会報告

2016年3月5日（土）に大東文化大学において第4回春季大会が開催されました（以下敬称略）。

(1) 修士論文賞報告

YODTOMORN Pimprapa（大阪市立大学大学院）

『タイにおける大学進学行動の地域間格差の要因に関する研究』

(2) 一般・若手報告

土井 直（日本大学）

『幼保一元化事業による待機児童減少効果の検証』

穴山 悌三（東京電力㈱）

『「一時的公的管理下」での規制と競争』

齋藤 長行（お茶の水女子大学/KDDI 研究所）

『自主規制と共同規制を機能させる一方策としての行動公共政策の有効性の検討』

野村 実（立命館大学大学院）

『人口減少社会における次世代型地域交通に関する一考察』

北村 友宏（神戸大学大学院）

『The Impact of Track Improvement on Railroad Productivity』

木村 望美（大阪大学大学院）

『Does trade liberalization help to reduce gender inequality? : A cross-country panel data analysis of wage gap』

小谷 功（大阪市立大学大学院）

『子ども医療費助成制度に関する制度論的考察』

(3) 次世代研究部会

「政治のメディア戦略とその展望」

パネリスト：生貝 直人（東京大学特任講師）、尾田 基（東北学院大学准教授）、香月 啓佑（一般社団法人インターネットユーザー協会 事務局長）、工藤 郁子（慶應義塾大学 SFC 研究所 上席研究員）

コーディネータ：西田 亮介（東京工業大学准教授）

(4) シンポジウム

「交通インフラから見た都市と地方の将来」

パネリスト：野村 実（立命館大学大学院社会学研究科博士課程）、藤井 大輔（東京交通短期大学運輸科准教授）、安本 宗春（東北福祉大学非常勤講師）、湯田 聡（関東バス株式会社運輸部安全管理担当部長）

コーディネータ：和田 尚久（東洋大学国際地域学部国際観光学科教授）

5. 事務局より

(1) 2016年度個人会費請求

2016年度（2015年12月1日～2016年11月30日）の個人会費8,000円（学生4,000円）をまだ納入されていない方は、至急入金をお願いいたします。

会費未納の会員は、学会誌受領、大会参加、連携団体会合の出席等、会員サービスを受けられないことがありますので、ご注意ください。

(2) 新入退会員の紹介（2016年3月以降）

一般会員 5名（敬称略）

橋本 理（関西大学）	柴田 学（金城学院大学）
岩満 賢次（愛知教育大学）	湯田 聡（東京交通短期大学）
長峯 純一（関西学院大学）	

学生会員 3名（敬称略）

鈴木 悠（東洋大学大学院）	阪本 豪（大阪市立大学院）
小辻 昌平（大阪市立大学大学院）	

退会 3名（敬称略）

氷鮑 揚四郎（筑波大学）	田平 正典（南山大学）
王天荷（京都大学大学院）	

(3) その他の主な行事

第31回 CIRIEC 国際大会

2016年9月21日～23日 於：フランス・ランス

テーマ「Public policies and social and democratic issues of globalisation: what projects to be developed by the public, social and cooperative economy?」

一般情報（以下の大会ホームページをご参照ください）

<http://www.ciriec.ulg.ac.be/en/event/31eme-congres-international-reims-france-21-23-septembre-2016/>

プログラム（英語版）

<http://www.ciriec.ulg.ac.be/wp-content/uploads/2016/06/congres-reims-en-07juin.pdf>

第5回春季大会

2017年3月10日（金）～11日（土）（予定）

於：金沢星稜大学

実行委員長：花田 真一（金沢星稜大学）

（4）CIRIEC Japan ロゴ（2016）について

2016年7月に開催されました理事会にて、本年度以降に用いる CIRIEC Japan の新ロゴが決定いたしました。左は CIRIEC International、右は CIRIEC Japan のロゴとなります。



CIRIEC International



CIRIEC Japan

新ロゴのデータにつきましては、学会 HP (<http://ciriec.com/logo2016/>) よりダウンロードできます。本学会の紹介等にご利用ください。ご不明点等につきましては、学会事務局までお問合せ下さい。

☆学会情報は、最新のものをホームページ <http://ciriec.com/> に掲載してありますので、ご参照ください。

☆学会への連絡は、メール (japan@ciriec.com) か郵便にてお願いいたします。

国際公共経済学会論文執筆要領

- (1) 論文は、日本語または英文で書かれたものとして、図表を含め、12,000字以内とする。英語の場合は、日本語の枚数に換算する。表題・執筆者名・所属機関名・キーワード（5語程度）を日・英文で明記する。また、英文要旨（5行程度）を必ずつける。
- (2) 論文は、原則として横書きとし、ワープロ原稿とする。
- (3) 表記は、現代仮名遣い、常用漢字とする。
- (4) 本文に挿入する表・グラフ・地図等、文字以外の資料については、必ずそのまま原紙として使用できる状態で送付すること。挿入箇所を本文中に明示する。
- (5) 注は文中の肩に（注1）のように記し、論文末尾にまとめる。
- (6) 章・節は、1、2、1）、2）、（1）、（2）の記号による。
- (7) 引用文献は注記する。記載は以下の方法による。
 - 著書（単独）の場合 執筆者名、[出版年月]、『書名』、出版社、引用ページ
 - 著書（複数）の場合 執筆者名、[出版年月]、「論文名」、編集者名、『書名』、出版社、引用ページ
 - 論文の場合 執筆者名、[出版年月]、「論文名」、『雑誌名』、巻号、引用ページ
- (8) 提出：事務局に郵送にて3部提出。
 - こちらから、概ね1週間以内に受領メールを出します。
 - 返信のない方は、事務局までお問い合わせください。

学会賞規定、および執筆要領

国際公共経済学会奨励賞規定

- 1（目的）国際公共経済に関する、大学院修士課程・博士課程在籍者およびそれに準ずる者の学術的研究の奨励に資するため、国際公共経済学会奨励賞を設け、該当会員による優秀なる論文、学会報告を審査選定してこれに賞を授与する。
- 2（表彰）受賞は、毎年数点以内として、賞状と記念品を授与する。
- 3（論文の応募資格）学会員であり、且つ、大学院修士課程・博士課程在籍者およびそれに準ずる者。但し、教員との共同発表は、認めない。また、「準ずる者」の詳細については、理事会に於いて定める。なお、大学院生等の学会報告には、この賞への応募を必要とする。
- 4（応募論文）応募論文は、12,000字以内のフルペーパーとする。
- 5（公募）本賞は、毎年1月に公募を開始し、8月31日に事前登録を締め切る。公募の詳細については、審査委員会において決定する。
- 6（審査）審査委員会は、応募論文を事前審査するとともに、学会報告の可否を決定する。また、学会報告のプレゼンテーションを審査し、論文審査と総合して受賞作を決定する。
- 7（報告）会員総会において審査委員長は、審査の経過を報告し、会長は対象作に賞を授与する。また、学会機関誌等でこれを公表する。